特定非営利活動法人　ザ・ピープル

理事長　吉田恵美子

●設立のきっかけ

1990年いわき市が派遣した女性ばかりの海外視察団第1回「いわき女性の翼」団員として集まった女性たちの中から、共通の問題意識を持つ者がボランティアのサークルを立ち上げ、身近な問題に取り組み始めました。当時のメンバーは理事長一人しか残っていませんが、思いはずっとメンバーたちに受け継がれています。

●団体の目的

この法人は、自分たちが住むまちの問題を自分たち自身が考え、その解決のため主体的に行動する、そうした住民の存在がこれからの地域を支える基盤であると考え、「住民主体のまちづくり」を進めることを大きな活動の目的とします。また、「地域」に対する意識を広げ、地球市民のひとりとして自分たちの果たすべき役割を担うことを目的とします。

今回の協働を求める私たちの思い

▶地域の課題

●震災から7年半がすぎ、復興は完了したという認識が広がる地域社会の中で、取り残されていく人々の存在

●震災起因などによる生活困窮者の増加の見通し

●行政が実施するフードバンク事業の対象者の限定・・・

行政では8歳以下の子供のいる家庭に対象を限定一度対象と認められると期限を切らずに供与

行政による福祉サービスに結びつくまでの間の隙間を埋める存在の必要性

目指す地域の姿

対象を限定しない民間主導によるフードバンク事業の立ち上げ

社会の中で生活に躓いた時、もう一度立ち上がるまでの期間、行政が用意した福祉サービスに結びつくまでの間、食のサポート受けられ、安心して準備を進められるような社会を！

フードバンクいわき　活動紹介

特定非営利活動法人
ザ・ピープル

●不要の食品を企業や個人の方から募ります

食品加工会社やスーパーマーケット、小売店、農家、個人の方から様々な理由で不要となり、廃棄処分せざるを得なくなった食料品の寄贈をお願いします。食品回収のため**フードドライブ**を実施します。

●集められた食品を管理します

本部施設内に食品備蓄用の施設を整備し、賞味期限を確認できる状況で保管します。

●寄贈いただいた食品を困っている方のところへお届けします

社会福祉協議会や生活困窮者支援団体などを介して、寄贈いただいた食品をお届けします。

今年度いわき市小名浜地区を対象として立ち上げ、スタッフ5名で試験運用をしています。

フードドライブに力を入れています

食品の提供を呼びかけるキャンペーン活動をフードドライブと呼びます。フードドライブへの関心を寄せてくださる方が少しずつ増えています。

協働に向けて

しかし、一方には生活困窮に陥る原因は本人の努力不足で、同情すべきものではないといった偏見や、行政の用意する福祉サービスで十分だという考え方もあり、支援の手を差し伸べるのを控える方も少なくありません。

逆に、困窮状態に陥ってもSOSを発することにためらいを感じてしまう人もあります。

こうした問題を解決するためには、できるだけ多くの人々にフードバンクについて知っていただく機会を持つことが必要です。

企業の皆様とご一緒できる部分があるのではないでしょうか？

社食deフードドライブ

社内の日常の中で、 フードバンクに食品を提供する機会を設けてみて頂けませんか？

スタッフが、昼食時にフードドライブキャンペーンセットを社員食堂に持ち込み、社員の皆さまに自宅で眠っている不要な食品をお持ちよりくださるようお願いします。そして、いずれは社員ボランティアの皆さんによる運営をお願いできたらと思います。